

令和5年度一般会計予算

まちの予算を

報告します

問い合わせ

財政課

TEL 23・3025

令和5年度の一般会計予算が決まりましたので、概要と主な事業を紹介いたします。

予算編成の基本的な考え方

新型コロナウイルス感染症、物価・原油価格高騰の影響がある中、「次の世代に繋げる安来市」を目指し、第2次安来市総

会計画の将来像「人が集い未来を拓くものづくりと文化のまち」の実現に向けた施策に取り組みます。

また、安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略による人口減少対策と安来市の創生を目的とした施策への取り組みを重点的かつ着実に進めます。

令和5年度予算総括表

(単位：千円)

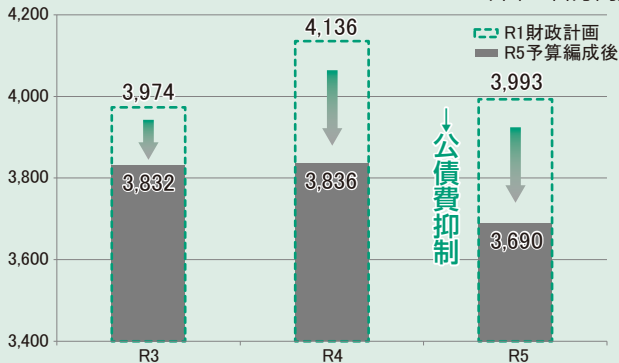
会計名	予算額	前年増減
一般会計	26,150,000	1,000,000
特別会計	11,855,660	669,110
国民健康保険事業	3,917,000	27,000
後期高齢者医療事業	1,212,000	29,000
介護保険事業	5,244,000	87,000
電気事業	567,700	484,600
生活排水処理事業	914,000	41,000
母里財産区	620	440
井尻財産区	170	20
赤屋財産区	170	50
合計	38,005,660	1,669,110

安定した財政運営に向けて

予算編成作業では、「歳入に見合った歳出」を念頭に、職員一人一人がコスト意識を持って施策の優先順位を洗い出し、前例や既成概念にとられない徹底した節約や歳入歳出両面での見直しを行いました。これにより、下図のとおり公債費負

元金償還額の推移（繰上償還は除く）

(単位：百万円)



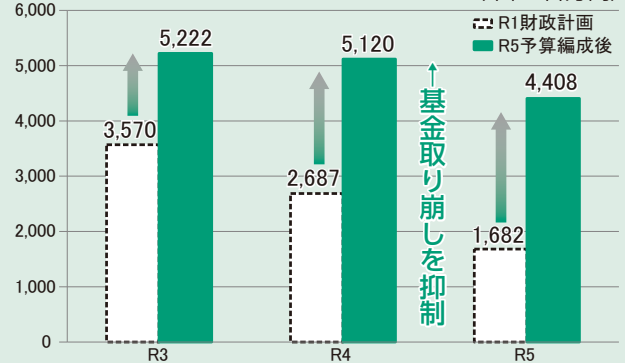
▲積極的な繰上償還により毎年度の公債費負担の抑制、平準化に努めています。

担の抑制や基金の積み立てを進めています。

また、第4次行政改革大綱、同実施計画で位置づけた取り組みを確実に実施することで歳出の適正化、将来負担の軽減を図ります。特に市が保有する公共施設については、最適な維持管理、運営を行うため、公共施設等総合管理計画を着実に進めていきます。

基金現在高の推移

(単位：百万円)



▲決算剰余金の一部を活用した基金の積み立てにより、残高確保に努めています。



歳入・歳出から見た予算

一般会計の当初予算総額は、対前年度比10億円増の261億5千万円となりました。

歳出は、財源が厳しい中でも、人口減少対策、デジタル化推進、公共施設の適正化など、これまでの財政健全化の成果を生かし、将来のまちづくりに必要な事業を盛り込みました。

一方、歳入について、市税は引き続き厳しい状況が見込まれるものの若干の上向き傾向がみられることから

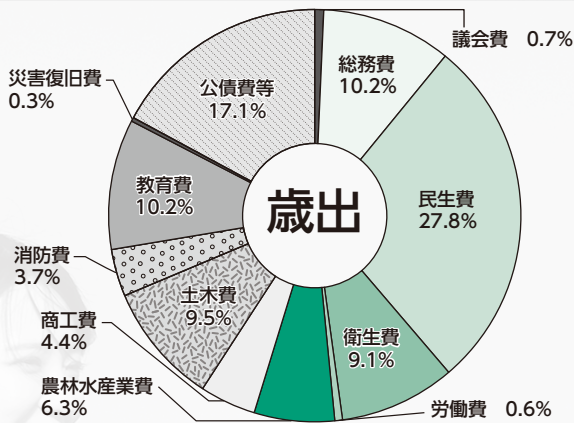
対前年度比8千万円増の50億5千万円余を見込んでいます。また、まちづくり事業の増加に伴い財源を確保したことから、国庫支出金は対前年度2億2千万円増、市債は4億5千万円増となっています。

今後も引き続き、歳入に見合った歳出を基本とした財政運営を継続していきます。

なお、一般会計当初予算の主要事業は、次のページで紹介いたします。

歳出予算内訳（目的別）

（単位：千円）

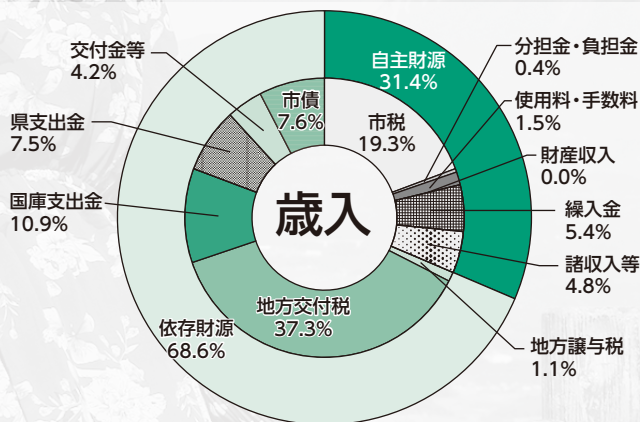


【用語】 民生費…高齢者・障がい者福祉など
衛生費…予防接種や各種検診など
公債費…借入金の元金・利子の返済など

歳出区分	令和5年度	前年増減
議会費	181,235	1,876
総務費	2,663,782	△66,055
民生費	7,276,977	△14,170
衛生費	2,368,378	106,315
労働費	156,774	0
農林水産業費	1,653,521	△97,380
商工費	1,156,856	428,991
土木費	2,493,846	418,174
消防費	973,931	5,520
教育費	2,664,327	525,312
災害復旧費	87,450	△160,932
公債費等	4,472,923	△147,651
合計	26,150,000	1,000,000

歳入予算内訳

（単位：千円）



【用語】 自主財源…市が自ら徴収できる財源
依存財源…国・県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする財源

歳入区分	令和5年度	前年増減
市税	5,051,010	84,955
分担金・負担金	91,958	△20,983
使用料・手数料	395,461	△12,982
財産収入	12,719	△1,598
繰入金	1,405,178	55,099
諸収入等	1,258,259	265,637
地方譲与税	282,001	500
地方交付税	9,750,000	90,000
国庫支出金	2,852,430	227,602
県支出金	1,959,149	△129,820
交付金等	1,093,135	△17,510
市債	1,998,700	459,100
合計	26,150,000	1,000,000



保健・医療・福祉

56億8368万円

健康増進事業（フレイル予防）

1000万円

健康寿命の延伸を目指して、効果的なフレイル予防事業を実施していくために官民連携による事業実施体制の構築を進めていきます。

養護老人ホーム鴨来荘整備事業

1億2000万円

老朽化した養護老人ホーム鴨来荘の移転整備を実施するため、令和4年度に策定した基本計画に基づき、令和5年度は基本設計および実施設計を行います。

子育て・教育・文化

52億4145万円

小中学校施設整備事業

1億8312万円

学校施設の空調設備の改修工事等を実施し、充実した学習環境の整備を図ります。

eスポーツ機会創出事業

100万円

年齢や性別、障がいの有無等



▲継続認定を受けた日本遺産「出雲國たたら風土記」の構成文化財等を紹介する和鋼博物館。

に関係なくオンライン上で交流できる「eスポーツ」のイベントを総合文化ホールで開催し、関係人口の拡大や地域の活性化につなげます。

体育施設改修事業

2億2650万円

伯太体育館の耐震改修や広瀬中央公園テニスコートの全面改修を行います。

和鋼博物館改修事業

882万円

和鋼博物館およびやすぎ図書館の建物設備改修に向けた長寿命化計画の策定と、両館の展示改修に向け研究者、観光団体などからなる展示計画委員会を組織し、基本計画を作成します。

都市基盤・生活

37億3439万円

内水対策事業

5500万円

令和3年7月の豪雨により東飯島地区の一部で民家数軒に床下浸水被害が発生しました。そのため、令和5年度は仮設ポンプの設置およびポンプ場用地を取得し、本設ポンプ場の整備を行います。

安来港飯島線改良事業

5億3259万円

安来港飯島線は、通学路としての利用があることから、道路改良を行うことで児童・生徒の



▲東飯島地区の内水対策事業。写真は令和4年7月に設置した仮設ポンプ。



▲安来港飯島線の整備状況（吉田橋付近）。

通学時の安全確保を図ります。令和5年度は、吉田橋橋梁下部工、吉田橋橋梁上部工の一部を行います。

防災・防犯

10億1625万円

比田地区防災拠点施設整備事業

1億2728万円

広瀬町西比田にある旧トスカ工場棟を解体し、ヘリポート、比田分駐所、比田分団拠点施設の整備をします。令和5年度は、旧トスカ工場棟の解体、基本設計、実施設計、土地購入を行います。





▲アルテピアでは照明器具を使い、さまざまなイベントを演出しています。

自然・環境保全

6億7746万円

施設等のLED化事業

3100万円

総合文化ホールアルテピア小ホールの演出照明器具や安来南体育館屋内球技場の照明器具をLEDに更新します。また、安来市所管の屋外照明灯をリース事業（メンテナンスを含む）によりLED化します。

再生可能エネルギー普及事業（ビジョン関連）
2000万円

令和4年度策定の「安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョン」に基づき、実行可能性

調査、理解促進のための学習会等を実施します。

再生可能エネルギー普及事業
378万円

再生可能エネルギーの普及促進を図るため、太陽光発電システム・蓄電池設備、太陽熱利用設備（ソーラーシステム）の設置費の補助を行います。

産業・観光・雇用

29億6641万円

企業立地推進事業（サテライトオフィス補助金）
9800万円

市内物件所有者やオフィス運営者等に対して補助金を交付することでサテライトオフィス等の整備を支援します。また、IT企業等を誘致して新たな雇用機会を創出し、地方移住を促す起爆剤とします。

お試しサテライトオフィス事業
344万円

サテライトオフィス1施設を市で借り上げ、IT企業を想定したオフィス環境を整備します。市内に進出を検討する企業等に1日～3カ月程度の期間、低価格で利用してもらいます。安来市でのお試し勤務を体験し

ふるさと寄附を有効に活用しています

令和4年度の寄付金を次の事業などに活用しました。

- ・企業立地推進事業
- ・情報科学高校との連携事業
- ・学校図書館システム更新事業



▲小学校の図書館で読書をする児童。市内全小中学校の図書館システムを更新しました。

参画・協働・行財政

23億5255万円

自治体DX推進事業
6億1430万円

マルチタスク車両を交流センターや集会所等に派遣し、市の

てもらうことで、他に整備するサテライトオフィスや空き店舗等への入居につなげます。
林業人材育成拠点整備事業
500万円
伯太町東母里・安田中地内の山林における「林業人材育成拠点」の整備に向け、拠点整備に係る基本構想に基づく基本計画策定を行います。

令和5年度の当初予算編成方針や事業別概要など、詳しい内容を市ホームページ（下記2次元コード）に掲載していますので、ご覧ください。
トップページ>
市政>財政>安来市の予算>令和5年度



総合行政システムと専用回線で繋ぎ行政サービスを提供します。また、マイナンバーカードの活用および窓口のスマート化を図る目的で、窓口受付支援システムを導入し、職員の聞き取りにより各種届や申請書を作成する「書かない窓口」を目指します。